

**令和 7 年度 日本大学国際関係学部
一般編入学試験（第 1 期・3 年次）小論文課題**

(2024. 11. 16)

国際総合政策学科

次の課題を 800 字程度で論述しなさい。（横書きのこと）

少子化は、先進国において共通して見られる社会現象の一つである。フランスなどの一部の国では、近年比較的高い出生率を維持しているものの、日本や韓国は、長年に渡って少子化の問題を抱えている。日本の場合、2023 年の合計特殊出生率（一人の女性が一生の間に出産する子供の数の指標）は 1.20 と、非常に低い水準となっている。

このような少子化の主な要因と、少子化対策として政府や自治体、企業が行うべき取り組みについて、あなたの考えを述べなさい。

参考:「令和 5 年(2023)人口動態統計月報年計(概数)の概況」(厚生労働省 2024 年 6 月 5 日発表)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai23/index.html>

**令和 7 年度 日本大学国際関係学部
一般編入学試験（第 1 期・3 年次）小論文課題**

(2024. 11. 16)

国際教養学科

次の課題を 800 字程度で論述しなさい。（横書きのこと）

フランス・パリで開催された第 33 回夏季オリンピック競技大会の開会式は、ジェンダーやエスニシティの『多様性・他者性』をテーマにし、大きな注目を集めました。その中で、黒人でマリ系フランス人のアーティスト、アヤ・ナカムラ氏の登場は、移民社会であるフランスの多様性の理念を象徴するものとして称賛されています。一方、日本においては、2023 年末時点で在留外国人数が 341 万人を超え※、過去最高を更新しました。文化面や生活の安定性という移住先としての魅力を持つ日本には、他方で偏見や非寛容性といった問題も残っています。移民社会化していく日本社会において、私たちはどのように多様性を推進できるでしょうか。具体例を用いて、あなたの意見を述べなさい。

※出入国在留管理庁「令和5年末現在における在留外国人数について」(2024 年 3 月 22 日発表)
https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00040.html